

令和元年度財務書類を公表します

財政状況に対する理解を深めていただくため、民間の会計基準を活用して財務書類を作成しています。

令和元年度決算に基づき、国から示された統一基準を用いて財務書類4表を作成しました。

ここでは、財務書類4表のうち「貸借対照表（バランスシート）」のみ掲載しています。それ以外の財務書類は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

貸借対照表（バランスシート）とは

地方公共団体の決算はその年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は、今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産（市民の財産）の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

一般会計等バランスシート

（令和2年3月31日現在）

借方（資金の使われ方）	
1 固定資産	1,121億6,431万円
①有形固定資産	④ 1,040億8,316万円
事業用資産	682億7,404万円
（庁舎、学校、保育所、児童館、福祉施設等）	
インフラ資産	357億 481万円
（道路、公園等）	
物品	1億 431万円
②投資その他の資産	80億8,115万円
（出資金、基金、長期延滞債権等）	
2 流動資産	70億4,343万円
①現金預金	25億1,662万円
②基金（財政調整、減債）	39億6,381万円
③未収金、短期貸付金等	5億6,300万円
● 資産合計	⑤ 1,192億 774万円

貸方（資金調達のため）	
1 固定負債	274億 156万円
①地方債	248億 290万円
②退職手当引当金	25億9,866万円
2 流動負債	35億8,045万円
①1年内償還予定地方債	27億9,027万円
②賞与等引当金	5億6,350万円
③預り金	2億2,668万円
● 負債合計	⑥ 309億8,201万円

1 純資産	882億2,573万円
● 純資産合計	⑦ 882億2,573万円

● 負債・純資産合計	1,192億 774万円
------------	--------------

資産合計 1,192億 774万円 【市民1人当たり 198万円（197万円）】

負債合計 309億8,201万円 【市民1人当たり 52万円（49万円）】

純資産合計 882億2,573万円 【市民1人当たり 147万円（148万円）】 （ ）内は前年度数値

※令和2年3月31日現在、住民基本台帳人口は60,062人です。

※上記のバランスシートは、一般会計と石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計、仁良川地区土地区画整理事業特別会計、歳入歳出外現金を合算したものです。

バランスシートから分かること

これまで市は、1,192億774万円⑤の資産を形成してきました。そのうち、有形固定資産（学校・道路・公園など）の1,040億8,316万円④が将来に引き継ぐ資産になります。

資産のうち、882億2,573万円⑦は、これまでの世代の負担で、すでに支払いが済んでいます。残りの309億8,201万円⑥を将来の世代が負担していくことになります。

純資産が負債より多いほど、健全な財政運営ができているといえます。

